

手話を楽しく学んでみよう

手話はだれでもすぐに覚えることができます。まずは、あいさつからはじめてみましょう！

こんにちは

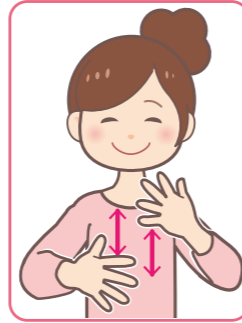


右手の人さし指と中指を立て、人さし指側を額にあてる。
(時計の12時を表現)



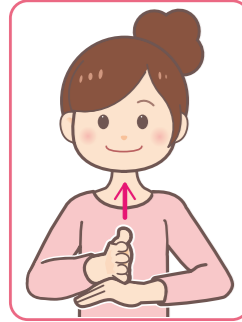
両手の人さし指が向かい合うように立て、軽く曲げる。
(「あいさつ」を表現)

うれしい



両手を胸の前で、交互に上下させる。

ありがとう



左手の甲に右手を垂直にのせて上に上げる。
(力士の手刀と同様)



頭はおじぎをするように軽く下げる。

好き

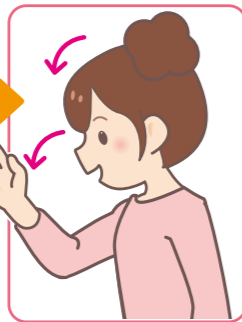


親指と人さし指を閉じながら下げる。

よろしくお願いします



右手のこぶしを鼻にあてる。
(「よろしく・よい」を表現)



手を開き、頭を下げながら、手を前に出す。
(「お願い」を表現)

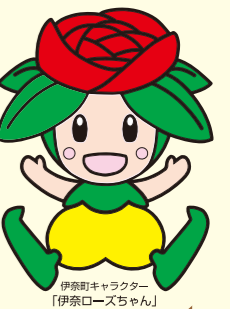
拍手



両手を上に上げ、手首を回転させてひらひら動かす。



伊奈町キャラクター「伊奈ローズくん」



伊奈町キャラクター「伊奈ローズちゃん」

伊奈町人と人とをつなぐ 手話言語条例

平成30年4月1日施行

この条例は、町民一人一人が手話が言語であることを認識し、手話を使用する方が安心して日常生活を送ることができるよう環境を整え、地域で支え合う社会を実現することを目的としています。

伊奈町

伊奈町社会福祉協議会では、聴覚障がい者への理解を深めるとともに、コミュニケーションとしての手話技術の習得を目的に手話講習会を毎年開催しています。

手話講習会は、年度ごとに開催する内容が異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

- ①入門編：学習経験なしの方を対象に、手話で自己紹介ができ、簡単な会話ができることを目指します。
- ②基礎編：入門課程修了者を対象に、ろう者と日常的な会話ができることを目指します。
- ③手話通訳者養成編Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ：基礎編課程修了者を対象に、手話通訳ができることを目指します。

伊奈町福祉課障害者福祉係 Tel.048-721-2111 Fax.048-721-2137
伊奈町社会福祉協議会 Tel.048-722-9990 Fax.048-723-6575

誰もが暮らしやすいまちを目指して



基本理念

手話の普及およびろう者に対する理解の促進は、町民一人一人が、手話が言語であり、意思疎通を円滑に図る手段であることを認識し、相互に人格および個性を尊重し合いながら共生することを基本として行うものとする。

それぞれの役割

町

- 手話の普及およびろう者に対する理解を広めます。
- 手話を使用しやすい環境づくりを進めます。
- 学校等で手話に触れる機会をつくれます。
- 手話通訳者を養成します。

町民

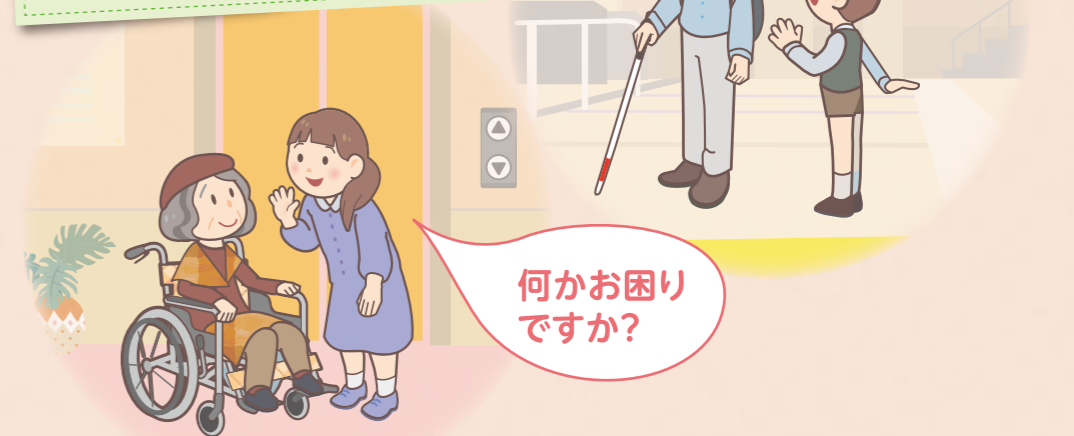
手話への理解を深め、ろう者と手話で意思疎通することで、暮らしやすい地域社会の実現に努めます。

事業者

手話への理解を深め、ろう者が利用しやすいサービスを提供し、ろう者が働きやすい環境整備に努めます。

地域のみなさまへ

困っている方(障がいを持っている方や高齢者など)を見かけたら、積極的に声をかけましょう。



声かけの例

- 困っているようなら・・・「何かお困りですか?」
- 悩んでいるようなら・・・「お手伝いしましょうか?」
- 迷っているようなら・・・「どちらかお探しですか?」

(注)「障がい」の表記について/町では、障がい者、障がいのある方など人を表す際はひらがな表記をしています。

聴覚の障害

聴覚の障害とは、話し言葉や周囲の音が聞こえにくかったり、ほとんど聞こえなかったりする状態のことです。どのくらい聞こえるかは、人によってさまざまです。

ろう者

手話を母語として使用し日常生活を送る人のことです。

難聴者

耳が聞こえにくい人のこと。補聴器、口話を使用して音声で会話する人、筆談や手話でやり取りする人など、コミュニケーション方法はさまざまです。

中途失聴者

日本語(音声言語)を覚えた後で、聞こえなくなった人のこと。コミュニケーション方法は難聴者と同様です。

こんなことに困っています

外見ではわかりにくい!!

聴覚障害があることは外見からはわかりにくいので、困っていても周囲には気付いてもらえないことがあります。

周囲の状況がわからない!!

周囲で起きた異変に気付くことが遅れ、適切な対応が取れない場合があります。特に、災害時には、情報が不足しがちです。

コミュニケーションの方法

障害の程度や個人によってコミュニケーション方法は異なります。その人が望んでいるコミュニケーション方法を確認し、話の内容が相手に正しく伝わっているか確認しながら会話を進めましょう。

手話

手指の動きや表情などを使って、考えや気持ちを表現します。

筆談

お互いに文字を書き、自分の意思を伝え合う方法です。中途失聴者、難聴者など日本語を習得した人には有効です。簡潔で分かりやすい文章にするなどの配慮が必要です。

口話

相手の口の動きを見て、話を読み取る方法です。相手の顔を見て、ゆっくりはっきり話すことが大切です。

補聴器

音を増幅する機械で、使用することにより音声でも会話が可能なおもいます。一方で「音」として聞き取ることはできませんが「言葉」として認識できない人もいます。

手話通訳

音声を手話に変換し、手話を音声に変換する通訳方法です。

要約筆記

音声で話されている内容を要約し、文字で伝える方法です。